

## 賤機山の野鳥

賤機山では、身近な野鳥が数多く見られます。

**留鳥** 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしない鳥



メジロ ヤマガラ キジバト

**夏鳥** 繁殖のために日本より南の国から渡ってきて、夏を日本で過ごし、繁殖が終わると再び越冬のために南の国へ渡っていく鳥



サンコウチョウ キビタキ ツバメ

**冬鳥** 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国へ渡っていく鳥



シロハラ ウソ ルリビタキ

## 賤機山の昆虫

西は安倍川、東は静岡市街に挟まれた賤機山では、多くの昆虫を見ることができます。

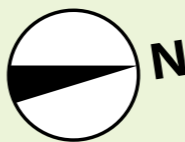
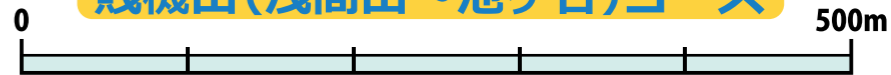
食草・食樹の周りでは成虫だけでなく、卵や幼虫、<sup>さなぎ</sup>蛹も観察できます。カラスアゲハやナミアゲハなどの幼虫は、斜面で栽培しているミカン類を食樹としています。アオスジアゲハの幼虫はクスノキの葉を、ゴマダラチョウの幼虫はエノキの葉を食べます。枝につく葉だけでなく、季節によっては落ち葉の裏もよく見てみましょう。



カラスアゲハ ゴマダラチョウ キアゲハ アオスジアゲハ

# 静岡いきものの 市 散策マップ

しずはたやま  
賤機山(浅間山~池ヶ谷)コース



## 静岡浅間神社

神部神社(かんべじんじゃ)・浅間神社(あさまじんじゃ)・大歳御祖神社(おおとしみおやじんじゃ)の3社を総称し、静岡浅間神社(通称:おせんげんさん)として信仰されています。

また、賤機山は、静岡の地名発祥の地として知られ、古代より神聖な場所としてこの地方の人々の精神的支柱となっています。漆塗り極彩色を施した社殿は26棟が国の重要文化財に指定されています。



## 賤機山古墳

賤機山古墳は、賤機山の南端に造られています。6世紀後半にこの地方を治めた有力な豪族の墓と考えられます。



賤機山古墳

## モミ

お寺や神社に植えられます。高さは30mにもなります。



GPS情報:  
N 34 58 58.9  
E 138 22 32.1

## タブノキ

太い枝を張り出してたくましい姿になります。



GPS情報:  
N 34 59 04.6 E 138 22 28.5

## クスノキ

木全体に良い香りがあります。秋に1cm弱の黒い実がなります。



GPS情報:  
N 34 59 02.3  
E 138 22 29.1

## エノキ

秋に橙~赤色の実がなり、鳥が食べて種を運びます。



GPS情報:  
N 34 59 20.7 E 138 22 27.2

## 賤機山からの眺め

浅間山山頂からは、南西方向は静岡市街から谷津山、麻機方面まで眺めることができます。賤機山の北側の茶畑は見晴らしがよく、安倍川や清水方面まで広く見渡せます。



浅間山山頂から静岡市街

茶畑から安倍川方面

浅間山山頂から富士山

茶畑から清水方面

## クロガネモチ

秋に6mm程の真っ赤な実をたくさんつけます。



GPS情報:  
N 34 59 34.4  
E 138 22 24.8

## 農道の排水穴のヘビ

農道の壁面にある水抜きのための穴には、時々ヘビが入っていることがあります。さわらないように注意してください。



アオダイショウ



シロマダラ



マムシ

注意!